

GROUP PROFILE 2023

Science.
Value.
Life.

グループ理念

2023年2月、三菱ケミカルグループ*がより強固な「One Team」となるために、すべての従業員がグローバルで共有するグループ理念を改めて策定しました。このグループ理念のもとで成長を実現し、企業価値を向上させることにより、顧客や株主の皆様をはじめとするすべてのステークホルダーへ貢献していきます。

※「三菱ケミカルグループ(MCG)社」は三菱ケミカルグループ株式会社を指し、「三菱ケミカルグループ(MCGグループ)」は三菱ケミカルグループ株式会社とそのグループ会社を指します。

Purpose

Purposeは、MCGグループが何をめざし、なぜ存在するのかを示したものです。MCGグループを導く「北極星」として掲げ続けてきたKAITEKIの実現に向けた力強く前向きな意志と、ステークホルダーに対する私たちの約束を表しています。

**私たちは、革新的なソリューションで、
人、社会、そして地球の心地よさが続いていく
KAITEKIの実現をリードしていきます。**

Slogan

Sloganは、Purpose 実現に向けてMCGグループが実践すべきManagement of Technology (価値あるイノベーションの創出。MOT)、Management of Economics (経済的付加価値と株主還元の上。MOE)、Management of Sustainability (持続可能な未来への貢献。MOS)の3軸を、「Science. Value. Life.」と端的に表現したものです。

よりよいイノベーションによって(Science)、すべてのステークホルダーへ価値を提供し(Value)、人々の健康な暮らしや社会と地球の持続可能性に貢献して(Life)、KAITEKIの実現をリードしていきます。

**Science.
Value.
Life.**

Our Way

Our Wayは、Purpose実現に向けてMCGグループの全員が大切にすべき心構えで、日々の業務遂行や意思決定に当たって常に意識し実践します。

誠実 Integrity

- 安全を最優先する
- 正しさを貫く
- 誇れる仕事をする

尊重 Respect

- 感謝の心を示す
- 互いの違いを認め合う
- 人と社会、地球を思いやる

果敢 Bravery

- 柔軟に発想する
- 決断し、迅速に動く
- 失敗を恐れず、挑戦を楽しむ

共創 Collaboration

- 強みをかけ合わせる
- 信頼を築き上げる
- チームワークを称える

完遂 Persistence

- 自分自身がやりとげる
- ステークホルダーに新しい価値を提供する
- 未来に責任を持つ

社長メッセージ



私たちが未来に向けてめざすものは、KAITEKIの実現です。よりよいイノベーションによって (Science)、すべてのステークホルダーへ価値を提供し (Value)、人々の健康な暮らしや社会と地球の持続可能性に貢献し (Life)、KAITEKIの実現をリードしていきます。

そのために、私たち三菱ケミカルグループは、2021年12月に発表した経営方針「Forging the future 未来を拓く」を着実に実行しています。組織の簡素化によるグループ全体の効率的な一体運営、よりサステナブルな成長分野への集中などを通じて、事業環境に逆風が吹きはじめられる中でも、スペシャリティケミカル企業への転換を着実に進めています。また、安全管理、コンプライアンスの徹底、内部統制システムとリスク管理体制の確立など、以前から取り組んできたグループガバナンスの強化も継続しています。

私たちには多くの優れた製品・サービスがあります。その中で、製品別の組織からマーケット志向型の組織への変革と、グローバルな販売体制を確立することで成長を実現していきます。当社グループの持続的な成長は、ステークホルダーの皆様さまざまな価値を提供し、人・社会・地球のよりよい未来に貢献できるものと考えています。

三菱ケミカルグループは、株主の皆様、お客様、従業員、地域社会その他すべてのステークホルダーの皆様とともに、よりよい未来の実現に向け挑戦を続けていきます。

代表執行役社長

Jean-Marc Gilson

ジョンマーク・ギルソン

注力市場の全体像

グローバルな主要トレンドを踏まえた注力市場

今後の成長が期待される市場群から、MCGグループに技術や製品の強みがあり、かつサステナビリティに寄与する7つの注力市場を選定しました。

製品別の組織からマーケット志向の組織にシフトし、注力市場での事業の開拓や拡大を実現していきます。

注力市場

						
<p>EV/モビリティ P. 5</p>  <p>バッテリー材料</p>  <p>炭素繊維複合材</p>	<p>デジタル P. 6</p>  <p>半導体向けの材料、サービス</p>  <p>ディスプレイ用部材</p>	<p>食品 P. 7</p>  <p>乳化剤</p>  <p>高ガスバリア材料</p>	<p>メディカル P. 8</p>  <p>医療用医薬品</p>  <p>医療用熱可塑性エラストマー</p>	<p>建設・インフラ P. 9</p>  <p>内外装向け金属樹脂複合板</p>  <p>移動式水素ステーション</p>	<p>消費財 P. 10</p>  <p>生分解性樹脂</p>  <p>液体洗剤包装用フィルム</p>	<p>産業 P. 11</p>  <p>エンジニアリングプラスチック製品</p>  <p>機能性分離材 (イオン交換樹脂)</p>

注力市場

EV/モビリティ



Pick up Product



バッテリー材料

材料開発から安全性評価にわたる高い技術力と、グローバル供給ネットワークをもとに、主に電気自動車用電池向けに電解液と負極材を、また電池パック向けに熱制御部材を展開しています。



炭素繊維複合材

軽量かつ高強度な炭素繊維複合材は、自動車や航空機の軽量化に貢献する材料です。私たちは軽さ・強度に生産性を加えた、速硬化プリプレグやSMCなどの独自素材を開発しています。

注力市場

デジタル



Pick up Product



半導体向けの材料、サービス

半導体製造工程で使われるさまざまなプロセス材料やその基幹材料を幅広く扱っています。全世界に展開している精密洗浄サービスと併せて、半導体業界の発展のためにお客様とソリューション開発をめざします。



ディスプレイ用部材

偏光板用基材フィルムや導光板、光学用粘着シート、反射フィルム、カラーフィルター用レジストなど、ディスプレイに適した機能部材を幅広く展開しています。

注力市場

食品



Pick up Product



乳化剤

食品用乳化剤であるシュガーエステルには、原料やエステル化度の違いによってさまざまな特性を持たせることができます。食品分野にとどまらず、化粧品・医薬用途や工業用途にも使われています。



高ガスバリア材料

「ソアノール」は独自の製造方法で開発したエチレン・ビニルアルコール共重合樹脂です。高いガスバリア性で食品の酸化劣化を防ぐことで消費期限の延長を可能にし、フードロス削減に寄与しています。

注力市場

メディカル



Pick up Product



医療用医薬品

コア領域である中枢神経、免疫炎症、糖尿病・腎領域に加え、がん領域にも取り組み、医薬品の提供を通じて、世界の患者さんやそのご家族のQOL向上に貢献していきます。



医療用熱可塑性エラストマー

医療機器・医薬品包装向けに設計された、高い医薬品衛生性を持つ熱可塑性エラストマー「ゼラス」は、輸液バッグやチューブ、シリンジガスケットなどに使用されています。

注力市場

建設・インフラ



Pick up Product



内外装向け金属樹脂複合板

「アルポリック」は面材にアルミなどの金属を、芯材に樹脂を使用した3層構造の金属樹脂複合板です。軽量性や意匠性、加工性に優れており、建築意匠を中心に幅広い用途で使用されています。



移動式水素ステーション

化石燃料の代替として期待の高まる水素燃料の普及拡大に向けて、水素ステーションを開発・販売しています。

注力市場

消費財



Pick up Product



生分解性樹脂

植物由来の原料から作られる「BioPBS」は、堆肥化設備、および土中の微生物によって完全に分解されます。農業用フィルム、生ごみ袋をはじめ、紙コップや食品包装などに使用されています。



液体洗剤包装用フィルム

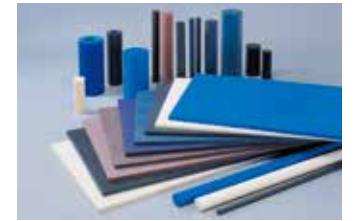
ポリビニルアルコールを主原料とした水溶性フィルム「ハイセロン」は、ヒートシール性、印刷性、耐溶剤性、ガスバリア性などさまざまな特長を持ち、液体洗剤包装用フィルムとしても使用されています。

注力市場

産業



Pick up Product



エンジニアリング プラスチック製品

エンジニアリングプラスチック素材のグローバルリーダーとして、産業機械、自動車、航空機、医療など、幅広い分野で事業を展開しています。



機能性分離材(イオン交換樹脂)

水の製造に用途を留めず、医薬・食品の精製、廃水処理、半導体製造用超純水の製造用など、多岐にわたって提供しています。豊富な種類のイオン交換樹脂を取り揃え、優れた物理的・化学的特性や工業用分離・精製に向けた秀でた再現性で世界中に知られています。

イノベーション

より速く、より大きな価値を生み出すために

MCGグループは、強力な研究開発力を基盤としており、イノベーションは社内だけにとどまりません。大学、スタートアップ企業、企業パートナー、政府機関などと連携をとりながら、社内の研究開発とオープンイノベーションを戦略的に組み合わせ、イノベーションを推進していきます。私たちは、イノベーションの質とスピードをさらに向上させるために、4つのポイントに重点をおいています。

エンドマーケットへの フォーカス

- 注力市場において、自社研究開発とオープンイノベーションを最適なバランスで推進する統合イノベーション戦略
- エンドカスタマーと連携したアジャイルな製品開発により、スピード感を持って価値を提供
- 足もとから未来へと変化する主要市場ニーズへの対応

新しいデジタル技術の活用

- 大規模かつ高効率なシミュレーションを可能にする、次世代コンピューティング技術
- 新素材や新製品の導入を加速するマテリアルズインフォマティクス
- 情報中心の化学産業を実現する量子コンピュータとAI技術

プロセスの効率化

- 長期視点の基盤研究から後期製品開発へシームレスに移行
- 地理的な制約を超え、バーチャルな研究組織を構築する実験データプラットフォーム

新規事業分野の開拓

- 高収益かつ高成長の次世代事業群の体系的な創出
- 既存事業の枠を超えた新しいアイデアの有効性を迅速に検証する「イノベーション・サンドボックス制度」

コーポレートベンチャー活動

MCGグループでは有望なスタートアップ企業との戦略的パートナーシップを通して、グループ全体の事業成長の機会を創出しています。

スタートアップ企業	強みと協業内容
 AddiiFab ApS	強み: 3Dプリンティングと射出成型を融合した特殊部品のアジャイルな生産技術 協業内容: 3Dプリンティング用材料の共同開発 (Nexa3Dによる買収完了)
 DAIZ	強み: 従来の食品を代替する植物性タンパク質由来食品 協業内容: 代替肉用素材の開発
 DIGILENS	強み: 次世代の拡張現実 (AR)/仮想現実 (VR) デバイス向けホログラフィック技術 協業内容: AR/VRデバイス向けプラスチック導光板の開発
 ERIDAN	強み: 低消費電力および周波数帯域の高効率的な利用を窒化ガリウム半導体で実現した5G無線通信用入出力プロセッサの開発 協業内容: 窒化ガリウム基板の供給と同用途の拡大
 Fluence Analytics	強み: 製造・研究での反応系の連続的なモニタリングと最適化 協業内容: 研究開発の効率化と継続的なプロセス改善 (横河電機による買収完了)
 Lactips	強み: フィルムおよびプラスチックを代替する水溶性のバイオ由来生分解性ポリマー材料 協業内容: 顧客のニーズに適合したグリーンマテリアル (環境に優しい材料) の開発
 Lingrove	強み: 自動車・産業用木材に代わる植物由来の持続可能な複合材および材料 協業内容: バイオベースの複合材料の開発
 Myoridge	強み: 製薬、再生医療、食品用途向けの特殊無血清細胞培地 協業内容: 細胞培養関連市場向け培地、材料の開発
 PRIME ROOTS	強み: 従来の肉製品に代わる麩菌由来の代替食品 協業内容: 代替肉用素材の開発と事業範囲の地理的拡大

イノベーション

注力市場における技術的優位性の活用

私たちは、長年にわたり技術ポートフォリオの構築に取り組んでおり、その結果得られた知的資本は当社の重要な推進力となっています。

こうした長期的な強みを持つ技術プラットフォームに加え、“Forging the Future”の各注力市場をターゲットとした独自の技術を創出していきます。



EV/モビリティ

デジタル

食品

メディカル

建設・インフラ

消費財

産業

主なトレンド

- | | | | | | | |
|---|---|--|---|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 電化 ● 軽量化部材 ● 現代的なデザイン | <ul style="list-style-type: none"> ● スピードと複雑性 ● 小型化 ● スマートホームとアプリケーション | <ul style="list-style-type: none"> ● 栄養と健康 ● 食品ロス削減 ● 加工性 | <ul style="list-style-type: none"> ● 長寿命 ● QOLの重視 ● オーダーメイドのインプラント | <ul style="list-style-type: none"> ● エネルギー効率 ● モジュール工法 ● 断熱 | <ul style="list-style-type: none"> ● パーソナライゼーション ● サステナビリティ ● 再生可能な資源 | <ul style="list-style-type: none"> ● スマート素材 ● エネルギー効率 ● ロボティクスと自動化 |
|---|---|--|---|--|--|---|

MCGグループの技術・製品

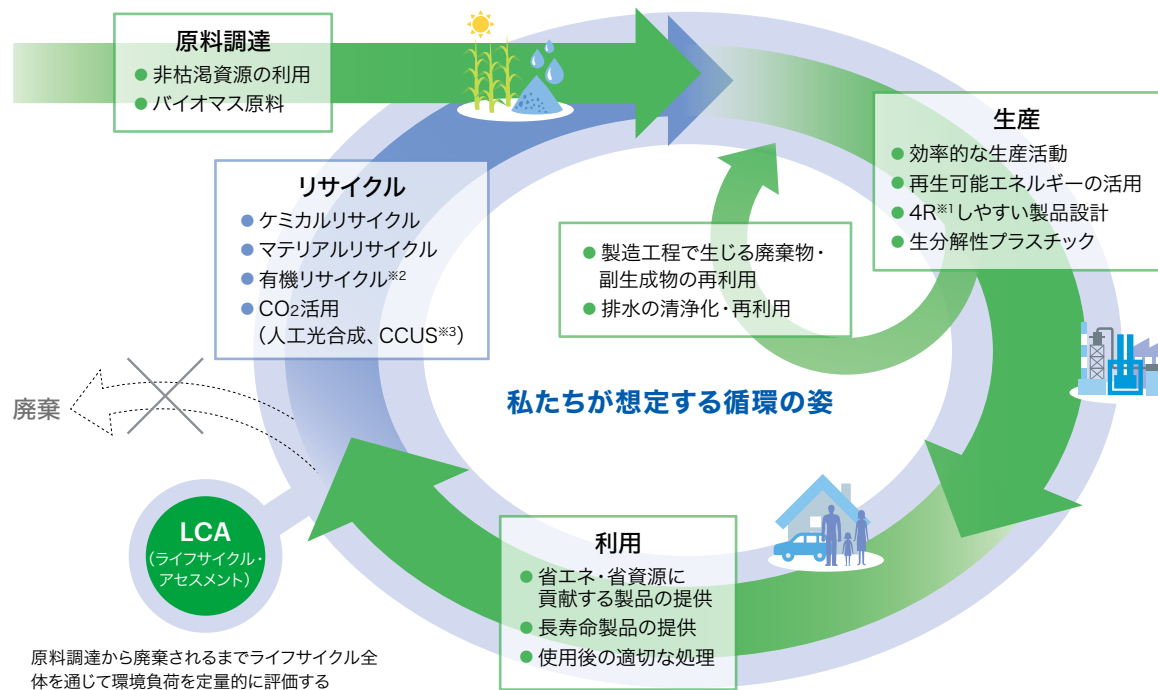
- | | | | | | | |
|---|---|---|--|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● バッテリー材料 ● 複合材料 ● 機能性高分子と化合物 | <ul style="list-style-type: none"> ● 半導体材料、装置、部品 ● 半導体洗浄サービス ● ディスプレイ用のフィルムと材料 | <ul style="list-style-type: none"> ● 乳化剤 ● ビタミン剤およびニュートリション ● ガスバリアフィルム ● プロバイオティクス | <ul style="list-style-type: none"> ● AIやインフォマティクスを駆使した創薬技術 ● バイオモダリティ関連技術 ● 生体適合性材料 | <ul style="list-style-type: none"> ● 建築資材 ● 接着およびコーティングの添加剤 ● ファサードデザイン素材 | <ul style="list-style-type: none"> ● 炭素繊維複合材 ● 水溶性ポリマー ● 高性能浄水装置 | <ul style="list-style-type: none"> ● 工業用加工フィルムと分離膜 ● 酸素燃焼技術 ● 付加製造技術 |
|---|---|---|--|--|---|---|

サステナビリティ

サーキュラーエコノミーを推進し、持続可能なオペレーションを実現

私たちは社会価値と経済価値をクロスオーバーさせ、グループ横断的にサーキュラーエコノミーを推進しています。

GHG排出量削減、サステナビリティ関連製品の売上収益、廃棄物・水マネジメントに対して具体的な目標値を設定し、2050年までにGHG排出量を実質ゼロとします。



取り組み事例

アクリル樹脂リサイクルに向けた取り組み

三菱ケミカルはMMAの世界シェア約30%を占める世界のリーディングカンパニーです。廃車など、市場から使用済みアクリル樹脂を回収し、ケミカルリサイクルを行い、原料として再利用するという国内初のスキーム構築をめざして実証実験を行っています。

医療用医薬品の国内物流における共同輸送の取り組み

2023年1月、国内物流において医薬品の適正流通(GDP)ガイドラインに準拠した製薬業界初の共同輸送の取り組みを田辺三菱製薬を含む4社で開始しました。積載効率を上げ運転台数を削減することで、ドライバー不足の軽減やCO₂排出量削減をめざします。これらの効率的な輸送で、医療用医薬品の安定供給と品質担保の向上につながります。

工業炉における燃料アンモニアの燃焼技術の開発

カーボンニュートラル社会の実現に向けて、CO₂を排出しないグリーン燃料の利用が課題の一つとなっています。大陽日酸では、グリーン燃料として期待されているアンモニアの活用に向けて、工業炉でのアンモニア-酸素燃焼/酸素富化燃焼技術の開発を進めています。

項目	目標値
GHG排出量削減	2030年度までにスコープ1および2の排出量を 30% 削減。 ^{※4} 2050年実質ゼロを達成
サステナビリティ関連製品^{※5}	2025年度までに、売上収益の 20% に
廃棄物・水資源マネジメント	2025年度までに、埋立廃棄物を 50% 削減 ^{※6}

※1 Reuse, Reduce, Recycle, Renewable

※2 コンポスト化やメタン発酵などで有機物を得る技術

※3 CO₂を回収し、放出させない技術

※4 対2019年度比。石化/炭素を含むMCGの29%削減目標に基づき概算

※5 サステナビリティに資する製品、特に気候変動、循環型経済、食糧供給、水資源保全など

※6 対2019年度比

会社概要

2023年3月期

三菱ケミカルグループ株式会社

Mitsubishi Chemical Group Corporation

本社所在地 …… 〒100-8251 東京都千代田区丸の内1-1-1 パレスビル

設立日 …… 2005年10月3日

資本金 …… 500億円

上場 …… 東証プライム

事業内容 …… グループ会社の経営管理(グループの全体戦略策定、資源配分など)

連結売上収益(IFRS) …… 4兆6,345億円

連結コア営業利益(IFRS) …… 3,256億円

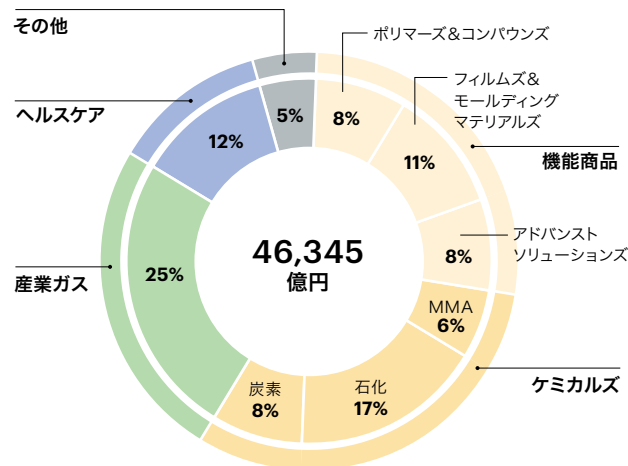
連結従業員数 …… 68,639名



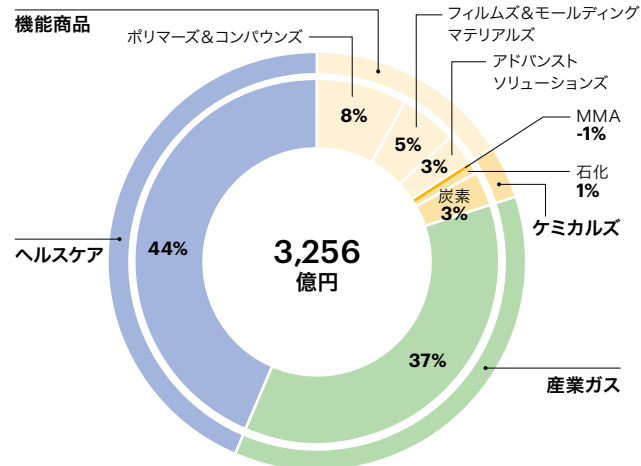
三菱ケミカルグループ
ウェブサイト

業績ハイライト

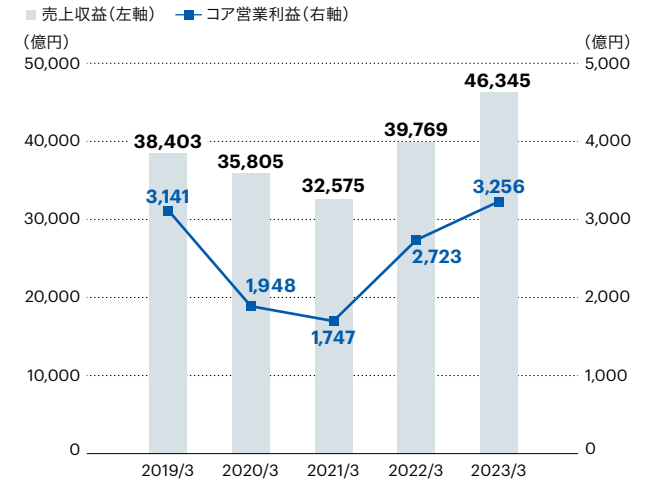
売上収益



コア営業利益



連結業績の推移

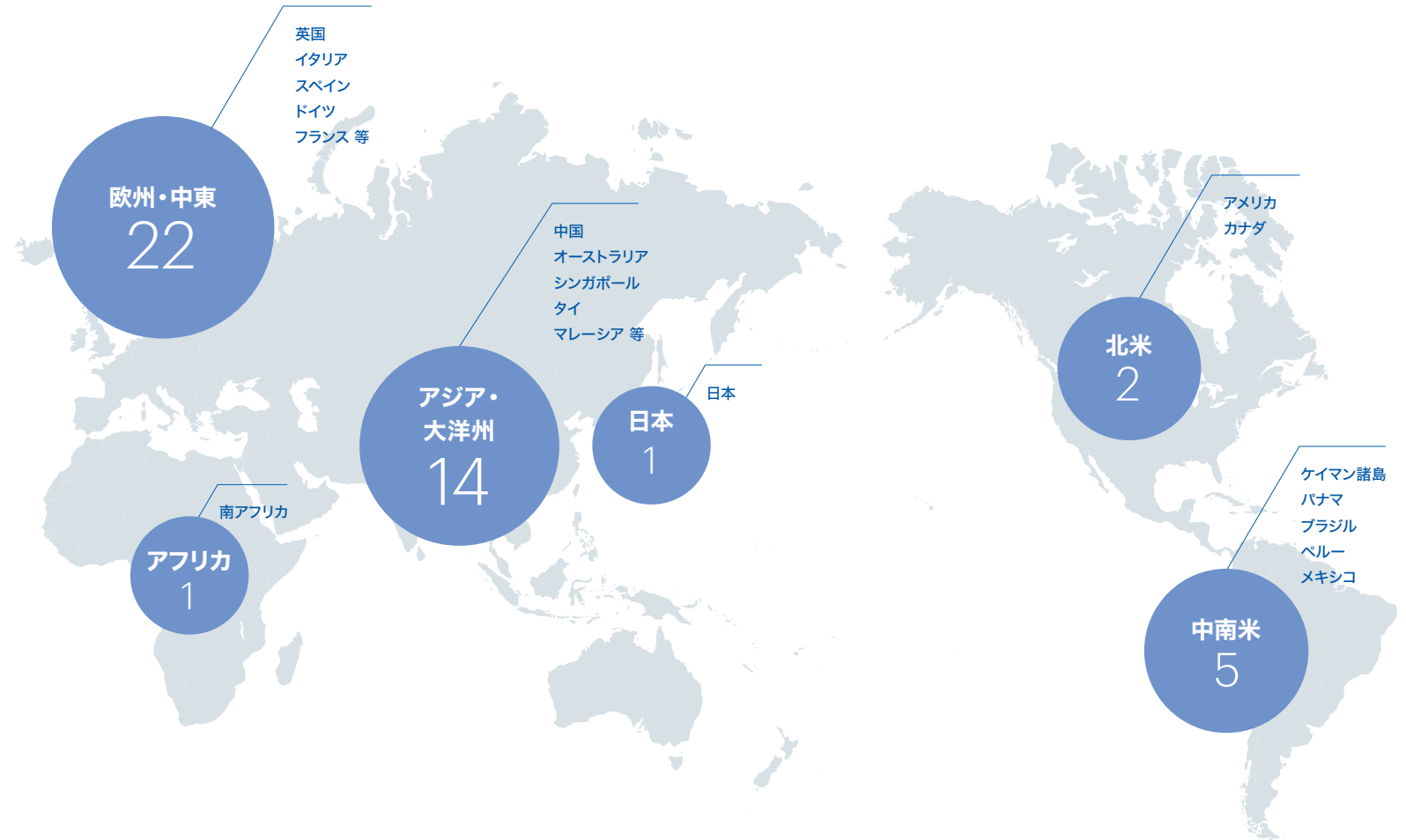


グローバルネットワーク

2023年3月期

グループ拠点(所在地・地域数)

45カ国・地域

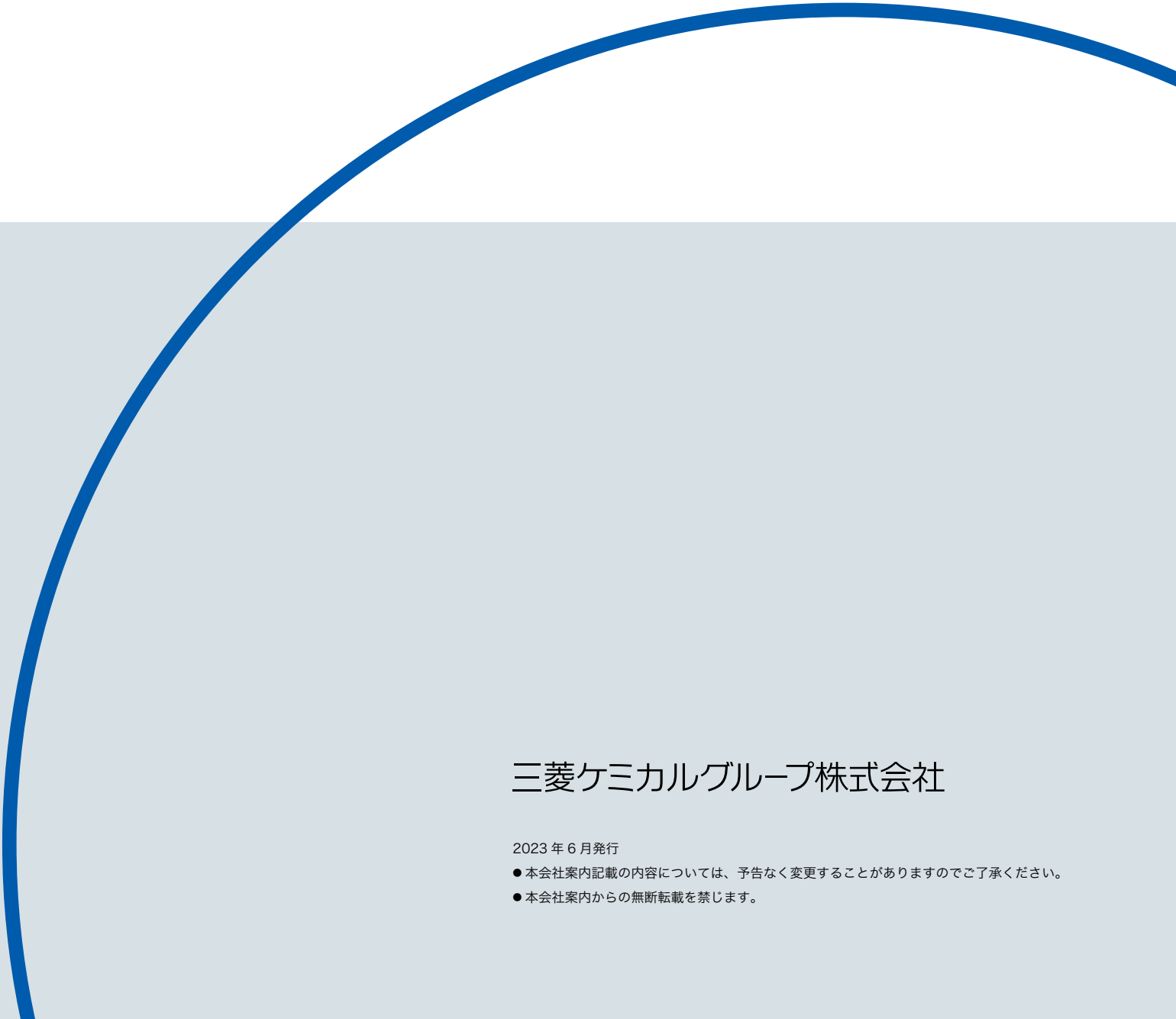


関係会社

593社

エリア別売上収益比率





三菱ケミカルグループ株式会社

2023年6月発行

- 本会社案内記載の内容については、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本会社案内からの無断転載を禁じます。